



【発行者・所在地】
 グリーンポスト事務局
 大阪市中央区东右衛門
 町5-25-302
 ☎06-6212-3100

★グリーンポスト第十七回理事会開催!

去る五月十四日(土)あまの井(大阪市中央区)に於いて第十七回(社)グリーンポスト理事会を開催しました。

理事会は(理事十二名中七名出席。委任状五名)議長に橋本聖さんを選出し、各議題について提案審議進行しました。

一昨年十一月の学校建設から新たな目標に向かいます。

詳細はホームページ掲載。(グリーンポスト検索)

「ラオスに移動図書館と絵本を寄贈する。」
 達成は3年間を目標とする。

①会員の拡大

②基金箱・チャリティー等の募金拡大活動

③新規事業の着手

会員の拡大は300名を目標に、ホームページの更新、チャリティーゴルフコンペ定例開催する。

(社)グリーンポスト交流会を新設する。

理事会の議題には、①平成27年度事業活動報告及び会計報告②平成28年度の新役員について③平成28年度事業運営計画報告④平成27年度新規社員報告などがありました。

本年は役員改選の年で、専務理事を新設し、橋本聖さんが就任。

理事が新たに4名、監事が1名加りました。

新理事には佐野匡伸さん、北口好男さん、喜寅正博さん、松村文春さん。新監事に尾崎正一さん。

新会員紹介(9名)

駒井照久さん、水畑正雄さん、久禮建司さん、種村吉一さん、皆坂健二さん、喜寅正博さん、福原きみえさん、林裕保さん、上田孝さんです。

ボランティア活動参加ありがとうございます。

今後もチャリティーコンペや他団体との協賛企画行事など、あらゆる機会を捉えて、ボランティア活動に取り組んでいきたいと考えています。

今後もグリーンポスト活動のご理解と各行事への参加をよろしくお願いします。

(社)グリーンポスト役員

理事長	高橋 秀直
副理事長	酒井 信夫
専務理事	橋本 聖
常務理事	上田 順三
理事	酒井 弘
理事	坂根 元彦
理事	中村 英次
理事	松本 昇浩
理事	森山 道朗
理事	城戸 勝彦
理事	田川 兆伸
理事	佐野 匡伸
理事	北口 好男
理事	喜寅 正博
監事	松村 文春
監事	今井 知子
監事	尾崎 正一
顧問	問相馬 達雄

○理事定数の変更

現行の理事・監事

「若干名」から改正案の

理事「15名以内」、

監事「若干名」へと明記

し変更。

○理事等の役職分担明記

具体的な役職を担う理事・主査等について、担当を明記する。

(統括・総務・広報・企画・営業)

○役職担当の決定

- ・統括担当：橋本専務理事
- ・総務担当：上田常務理事
- ・広報担当：松村理事
- ・企画担当：喜寅理事
- ・営業担当：酒井理事

【チャリティー募金】

夏のお疲れ様会2, 578円

下呂温泉旅行会3, 995円

尾崎さんを囲む会2, 075円

チャリティーコンペ(第3・4回)5, 210円

萩・長門の旅1,987円

【グリーンポストチャリティーコンペ開催】

第3回コンペ(27, 5, 30)

第4回コンペ(27, 11, 21)

【基金回収状況】

27年度34, 042円

28年度：8月末現在53, 305円



グリーンポストのバッジ
 作成しました。

1個1, 600円。注文有り
 しい15個単位で発注しま
 す。グリーンポスト役員まで

※おしらせ

グリーンポストのサポーターであった工藤まさ子さんが昨年九月交通事故で逝去され、本年四月工藤まさ子さんのお店「みさわ」が再オープンしています。大阪ミナミのど真ん中で超リーズナブル。一度お立ち寄りください。

青朱白玄の会 2016年チェンマイ&ゴールデントライアングルツアー旅日記

4月11日（月）7時、関西空港に6人が集結。9時20分過ぎにフライト。経由地の香港国際空港からチェンマイ空港に17時20分に到着。（時差2時間で日本時間は19時20分）

チェンマイプラザホテルで荷を解いたあと、旧知のゴン君とご子息二人と合流、川の近くにあるレストランで夕食。タイ料理のチェンマイソーセージや餅米など美味かった。

4月12日午前9時、チェンマイから約36キロのサンカムペーン温泉に向かう。

宿泊するインペリアルゴールドライアングルリゾートから舟でラオス側のDONE SAO島に渡る。ここは観光市場といった所で支払いもバーツでOK。

島の周辺は中国資本によるカジノと高齢者向けマンションが建設中。ガイドさんの話ではタイは法律でカジノは認められておらず、ミャンマー側にはタイ資本のカジノが営業中とか。

アヘン博物館（私設）を見学。かつて、ゴールドライアングルと言えば、麻薬の栽培、アヘン密造と世界中に名を知られた地域であった。少数民族や国民党軍にミャンマーやタイの正規軍が入り乱れ、やばい地域の代名詞であったが、近年タイでは取り締まりが厳しく行われ代作物への転換も進んでいる。アヘンの栽培、密造の歴史や取引に使用した重りやキセルなどを展示している。

4月15日は「ホール・オブ・オピウム・ゴールドライアングル」と2001年にオープンした国立ゴールドライアングル・アヘン博物館を見学。

アヘンの栽培過程やアヘン中毒者の写真やイギリスなどの歴史的な資料が多数展示され、歴史がわかりやすく説明されています。アヘン撲滅についてはタイ王室が少数民族に対する自立に向けて援助を推し進めたことも紹介されています。

その後、ミャンマー国境を陸路で往復。橋を渡り、タイ側を出国しミャンマー側へ。ここで幌付きの軽トラックをチャーターし町を移動する。

ミャンマーも水かけ祭り真っ只中で、容赦なくバケツで車内にかけてしまっ。

最初は全員油断したためともに水をかけられたので、反省を踏まえ柚木さんの傘を借りて水をかけられそうになると傘をさして防戦する。

最初に傘を開いた時に水をかけていたおじさんも何じやこれとは苦笑いしておりました。

早期発見が防衛の第一歩と全員が目凝らして道の両側をチェック。

最後は見事にバケツ攻撃をクリアして意気揚々とミャンマーを後にしました。

夜は、チェンマイに戻り、ナイトバザールを冷やかに歩く。ホテルからも近く、観光客でにぎわった返しており、水鉄砲も多数売られている。

柚木さんは、お孫さんの服を選ぶのにスマホで写真を撮り、日本の娘さんを選んでもらおうと張り切っている。夜、テレビで地震情報。熊本城の天守閣や石垣が崩れているのには驚く。

チェンマイも年に4〜5回地震があり、多くの寺院も地震で倒壊したり修復の歴史がある。

4月16日、チェンマイ最後の日。

中華料理の店で昼食をとったあとは自由行動。

北口さんと周辺を歩いてみたが、あまりの暑さに頭がクラクラする。想えば連日38度や40度という気温だった。

16時前にホテルから空港へ。再びドラゴン航空で香港に到着すると、空港職員の女性が「関空OXS66便搭乗者はここに」と書かれた紙を持って立っている。搭乗予定の日本人とタイ人18人がカウンターに案内されるが理由はよくわからず、女性も言われたから案内してただけなので質問しても無駄よといわんばかり。

どうも関空が悪天候で飛行機が飛ばないらしい。リーガルエアポートホテルで宿泊だけできるとなったものの、トランクは空港内から出ず、着替え一つない状態で、入国審査を受けてホテルへ。

上田さんと食料探しに出るも午前0時過ぎなので、店も開いておらず諦めて部屋に戻る。

翌朝は7時に空港に入り、8時50分の関空行きだとわかる。

酒井さんと北口さんがラウンジに行き、パンを手に入れてくれたのでそれが全員の朝食となった。

乗換地での足踏みを経験したのも、今となっては貴重な体験。何があるかわからないのが、旅の醍醐味だが、手持ちのバックに着替えと食べ物を入れて置くところが大事との教訓を得ました。

《文春》